



2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月14日

上場会社名 ニッパツ(日本発条株式会社)
 コード番号 5991 URL <https://www.nhkspg.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 茅本 隆司
 問合せ先責任者 (役職名) 企画管理本部総務部部长 (氏名) 野島 善一
 定時株主総会開催予定日 2021年6月25日 配当支払開始予定日 2021年6月28日
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月28日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

上場取引所 東

TEL 045-786-7511

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	572,639	△13.8	10,463	△49.5	14,533	△31.7	9,396	103.7
2020年3月期	664,499	△2.4	20,715	△22.3	21,266	△32.4	4,612	△35.1

(注) 包括利益 2021年3月期 21,730百万円 (—%) 2020年3月期 △2,019百万円 (△11.2%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	40.45	—	3.4	2.7	1.8
2020年3月期	19.46	—	1.7	3.8	3.1

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 982百万円 2020年3月期 983百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	560,769	299,975	50.6	1,245.48
2020年3月期	532,615	286,553	50.9	1,151.04

(参考) 自己資本 2021年3月期 283,993百万円 2020年3月期 270,988百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	29,636	△24,107	2,792	78,986
2020年3月期	36,621	△45,809	△16,950	74,314

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	12.00	—	5.00	17.00	4,022	87.3	1.5
2021年3月期	—	5.00	—	12.00	17.00	3,904	42.0	1.4
2022年3月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 2022年3月期の配当金額は未定であります。

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	270,000	14.3	6,000	—	7,000	—	4,500	—	19.74
通期	600,000	4.8	25,000	138.9	27,000	85.8	18,000	91.6	78.94

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数

2021年3月期	244,066,144 株	2020年3月期	244,066,144 株
2021年3月期	16,047,128 株	2020年3月期	8,637,279 株
2021年3月期	232,307,849 株	2020年3月期	236,957,766 株

(参考)個別業績の概要

2021年3月期の個別業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	264,687	△11.8	4,320	△38.0	11,071	9.0	4,961	—
2020年3月期	300,149	△4.0	6,974	△32.6	10,155	△50.3	△6,807	—

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	21.36	—
2020年3月期	△28.73	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	358,804	161,221	44.9	707.05
2020年3月期	338,273	155,289	45.9	659.60

(参考) 自己資本 2021年3月期 161,221百万円 2020年3月期 155,289百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、上記業績予想に関する事項は、【添付資料】P3、「1. 経営成績等の概況(2).次期の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 次期の見通し	3
(3) 財政状態に関する分析	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)	12
(セグメント情報等)	12
(参考情報)	15
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度は、日本、米国において、新型コロナウイルス感染症の影響により、景気は厳しい状況で推移しましたが、後半より持ち直しつつあります。

中国でも同様の影響から経済活動は大幅に縮小しましたが、他の地域に比べ早期に景気は持ち直しています。一方で、タイの景気は、下げ止まりつつあるものの厳しい状況が続きました。

当社グループの主要な事業分野である自動車関連市場においては、国内の自動車生産台数は7,745千台で前期比15.7%の減少となりました。また、北米（米国・カナダ）においては10,220千台で前期比17.9%の減少、中国では25,048千台で前期比3.2%の減少、タイでは1,412千台で前期比30.4%の減少となりました（いずれも台数は各拠点の決算期に応じた集計）。

もう一方の主要な事業分野である情報通信関連市場につきましては、HDD（ハードディスクドライブ）の世界生産台数は前期比で減少しましたが、高容量のデータセンター向けが堅調に推移したことにより、当社の主力製品であるサスペンションの総需要は増加となりました。

以上のような経営環境のもと、売上高は572,639百万円（前期比13.8%減）、営業利益は10,463百万円（前期比49.5%減）、経常利益は14,533百万円（前期比31.7%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は9,396百万円（前期比103.7%増）となりました。

セグメントの状況は以下のとおりです。

[懸架ばね事業]

懸架ばね事業は、新型コロナウイルス感染症拡大を受けた自動車メーカーの操業停止及び需要低迷に伴う生産調整による受注減の影響が大きく、売上高は102,071百万円（前期比19.2%減）、営業損失は4,687百万円（前期は営業利益2,708百万円）となりました。

[シート事業]

シート事業は、懸架ばね事業と同様の状況により、売上高は242,514百万円（前期比19.8%減）、営業利益は1,972百万円（前期比71.7%減）となりました。

[精密部品事業]

精密部品事業は、自動車関連事業において新型コロナウイルス感染症による影響が大きい一方、情報通信関連事業は堅調に推移し、コロナ禍における固定費削減効果もあり、売上高は138,529百万円（前期比3.1%減）、営業利益は6,833百万円（前期比9.4%増）となりました。

[産業機器ほか事業]

産業機器ほか事業は、自動車関連事業において新型コロナウイルス感染症による影響があるものの、半導体プロセス部品等は堅調に推移し、コロナ禍における固定費削減効果もあり、売上高は89,523百万円（前期比3.3%減）、営業利益は6,344百万円（前期比32.1%増）となりました。

(2) 次期の見通し

世界経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況が続く中、感染の再拡大や半導体不足の長期化による自動車生産台数の下振れ等のリスクはあるものの、持ち直しの動きが続くことが期待されます。一方、自動車の電動化の進展や情報通信の高度化等、当社グループを取り巻く事業環境は大きく変化しており、このような激変する事業環境への対応を加速しながら、持続的に成長していくことが当社グループの課題であります。

2021年度は、2023年度を最終年度とする新たな中期経営計画の初年度となります。「コロナ禍をばねに飛躍する年」というスローガンのもと、「1. 「真直ぐ」な姿勢を堅持する、2. 品質第一の原点に戻って、ものづくり力を強化する、3. 収益力を向上させる、4. 新たな技術と商品を”加速度的”に開発する、5. 安心・安全な会社、働きがいのある働きやすい職場を作る」を2021年度のグループ経営方針として掲げ、経営目標の達成に鋭意取り組んでまいります。

また、当社は全てのステークホルダーから信頼される企業であり続けるために、企業倫理の重要性を認識し、コーポレートガバナンスの充実、及び法令順守の徹底に努めてまいります。

このような経営環境のもと、2022年3月期の業績予想につきましては、売上高600,000百万円（前期比4.8%増）、営業利益は25,000百万円（前期比138.9%増）、経常利益は27,000百万円（前期比85.8%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は18,000百万円（前期比91.6%増）となる見込みであります。

（主要為替レートは、105円/米ドル、3.3円/タイバートとしております。）

(3) 財政状態に関する分析

- ① 当連結会計年度末の総資産は、株式市場における時価変動による投資有価証券や退職給付に係る資産の増加等により、前連結会計年度末に比べ28,154百万円増加し、560,769百万円となりました。

負債については、新型コロナウイルス感染症による影響を鑑み、手元流動性を高めるべく短期借入を実施したこと等により、前連結会計年度末に比べ14,732百万円増加し、260,793百万円となりました。

純資産については、その他有価証券評価差額金や親会社株主に帰属する当期純利益による利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べ13,421百万円増加し、299,975百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

(単位:百万円)

	前期	当期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	36,621	29,636	△6,985
投資活動によるキャッシュ・フロー	△45,809	△24,107	21,702
財務活動によるキャッシュ・フロー	△16,950	2,792	19,743
換算差額	993	△3,649	△4,642
現金及び現金同等物の増減額	△25,145	4,671	29,817
現金及び現金同等物期首残高	98,403	74,314	△24,088
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	844	—	△844
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	212	—	△212
現金及び現金同等物期末残高	74,314	78,986	4,671
有利子負債期末残高	57,591	69,264	11,673

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）は78,986百万円で前期比6.3%の増加となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、主に税金等調整前当期純利益や減価償却費の計上により、29,636百万円の増加（前期は36,621百万円の増加）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に有形固定資産の取得による支出により、24,107百万円の減少（前期は45,809百万円の減少）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に新型コロナウイルス感染症の拡大に備えた手元流動性確保のための短期借入れにより、2,792百万円の増加（前期は16,950百万円の減少）となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローから投資活動によるキャッシュ・フローを差し引いたフリー・キャッシュ・フローは5,528百万円となりました。

以上の結果、当期における現金及び現金同等物は前期末に比べ4,671百万円増加し、78,986百万円となりました。また、有利子負債は69,264百万円と前期末に比べて11,673百万円増加しました。

（参考） キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
自己資本比率(%)	52.0	51.5	49.0	50.9	50.6
時価ベースの 自己資本比率(%)	54.2	46.9	41.1	31.3	33.7
キャッシュ・フロー対 有利子負債比率(年)	1.0	1.1	1.8	1.5	2.3
インタレスト・ カバレッジ・レシオ(倍)	310.0	142.6	128.5	121.1	83.3

※ 自己資本比率：（純資産－新株予約権－非支配株主持分）／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

1. 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。
2. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。
3. キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	74,593	79,331
受取手形及び売掛金	134,315	140,633
商品及び製品	20,236	18,855
仕掛品	9,412	9,585
原材料及び貯蔵品	18,016	18,969
部分品	7,119	7,407
その他	20,865	19,970
貸倒引当金	△136	△193
流動資産合計	284,423	294,560
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	153,589	154,326
減価償却累計額	△97,106	△100,418
建物及び構築物 (純額)	56,483	53,907
機械装置及び運搬具	261,246	277,127
減価償却累計額	△200,100	△209,660
機械装置及び運搬具 (純額)	61,146	67,466
土地	31,149	29,444
リース資産	1,427	1,476
減価償却累計額	△753	△889
リース資産 (純額)	674	586
建設仮勘定	19,943	13,997
その他	77,904	80,470
減価償却累計額	△66,997	△70,206
その他 (純額)	10,906	10,263
有形固定資産合計	180,302	175,667
無形固定資産		
投資その他の資産	3,187	3,032
投資有価証券	42,853	55,756
長期貸付金	2,760	2,938
繰延税金資産	9,081	9,952
退職給付に係る資産	1,941	10,195
その他	9,117	9,787
貸倒引当金	△1,052	△1,121
投資その他の資産合計	64,701	87,508
固定資産合計	248,192	266,208
資産合計	532,615	560,769

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	78,999	80,555
電子記録債務	37,880	33,114
短期借入金	20,363	43,053
未払法人税等	3,038	3,702
役員賞与引当金	236	244
設備関係支払手形	3,380	2,557
その他	35,000	31,446
流動負債合計	178,899	194,675
固定負債		
長期借入金	33,228	26,211
リース債務	547	467
繰延税金負債	3,811	9,837
退職給付に係る負債	23,190	23,331
役員退職慰労引当金	615	630
執行役員退職慰労引当金	875	791
その他	4,893	4,848
固定負債合計	67,162	66,118
負債合計	246,061	260,793
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,009	17,009
資本剰余金	19,579	19,579
利益剰余金	227,062	234,113
自己株式	△8,868	△14,295
株主資本合計	254,782	256,407
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,642	23,740
為替換算調整勘定	8,117	4,497
退職給付に係る調整累計額	△6,555	△652
その他の包括利益累計額合計	16,205	27,585
非支配株主持分	15,565	15,982
純資産合計	286,553	299,975
負債純資産合計	532,615	560,769

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	664,499	572,639
売上原価	596,787	517,479
売上総利益	67,712	55,159
販売費及び一般管理費	46,996	44,695
営業利益	20,715	10,463
営業外収益		
受取利息	870	525
受取配当金	1,851	1,187
持分法による投資利益	983	982
不動産賃貸料	618	884
助成金収入	17	2,195
為替差益	—	1,229
その他	1,980	1,676
営業外収益合計	6,323	8,681
営業外費用		
支払利息	303	333
災害による損失	7	2,294
為替差損	3,866	—
その他	1,595	1,983
営業外費用合計	5,772	4,611
経常利益	21,266	14,533
特別利益		
投資有価証券売却益	—	659
特別利益合計	—	659
特別損失		
減損損失	4,687	433
投資有価証券評価損	467	—
関係会社株式評価損	694	—
独占禁止法関連損失	3,202	—
特別損失合計	9,052	433
税金等調整前当期純利益	12,213	14,759
法人税、住民税及び事業税	6,258	5,597
法人税等調整額	87	△1,279
法人税等合計	6,345	4,318
当期純利益	5,868	10,441
非支配株主に帰属する当期純利益	1,256	1,044
親会社株主に帰属する当期純利益	4,612	9,396

（連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）	当連結会計年度 （自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）
当期純利益	5,868	10,441
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,733	9,122
為替換算調整勘定	2,954	△3,685
退職給付に係る調整額	△3,719	5,928
持分法適用会社に対する持分相当額	△388	△76
その他の包括利益合計	△7,887	11,289
包括利益	△2,019	21,730
（内訳）		
親会社株主に係る包括利益	△3,229	20,777
非支配株主に係る包括利益	1,210	953

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	17,009	19,579	228,016	△7,517	257,087
当期変動額					
剰余金の配当			△5,690		△5,690
親会社株主に帰属する 当期純利益			4,612		4,612
連結範囲の変動			123		123
自己株式の取得				△1,350	△1,350
自己株式の処分		0		0	0
非支配株主との取引に係る 親会社の持分変動					—
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	0	△954	△1,350	△2,304
当期末残高	17,009	19,579	227,062	△8,868	254,782

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計		
当期首残高	21,349	5,625	△2,927	24,047	14,926	296,061
当期変動額						
剰余金の配当						△5,690
親会社株主に帰属する 当期純利益						4,612
連結範囲の変動						123
自己株式の取得						△1,350
自己株式の処分						0
非支配株主との取引に係る 親会社の持分変動						—
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	△6,706	2,492	△3,627	△7,841	638	△7,202
当期変動額合計	△6,706	2,492	△3,627	△7,841	638	△9,507
当期末残高	14,642	8,117	△6,555	16,205	15,565	286,553

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	17,009	19,579	227,062	△8,868	254,782
当期変動額					
剰余金の配当			△2,345		△2,345
親会社株主に帰属する 当期純利益			9,396		9,396
連結範囲の変動					—
自己株式の取得				△5,427	△5,427
自己株式の処分		0		0	0
非支配株主との取引に係る 親会社の持分変動		0			0
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	0	7,051	△5,427	1,625
当期末残高	17,009	19,579	234,113	△14,295	256,407

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計		
当期首残高	14,642	8,117	△6,555	16,205	15,565	286,553
当期変動額						
剰余金の配当						△2,345
親会社株主に帰属する 当期純利益						9,396
連結範囲の変動						—
自己株式の取得						△5,427
自己株式の処分						0
非支配株主との取引に係る 親会社の持分変動						0
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	9,097	△3,620	5,903	11,380	416	11,796
当期変動額合計	9,097	△3,620	5,903	11,380	416	13,421
当期末残高	23,740	4,497	△652	27,585	15,982	299,975

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	12,213	14,759
減価償却費	26,408	27,498
減損損失	4,687	433
退職給付に係る資産負債の増減額	507	863
受取利息及び受取配当金	△2,722	△1,713
支払利息	303	333
為替差損益 (△は益)	3,135	△205
持分法による投資損益 (△は益)	△983	△982
有形固定資産除売却損益 (△は益)	44	190
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△659
売上債権の増減額 (△は増加)	8,980	△7,030
たな卸資産の増減額 (△は増加)	348	△337
仕入債務の増減額 (△は減少)	△13,604	△2,598
その他	819	2,368
小計	40,139	32,920
利息及び配当金の受取額	3,206	1,980
利息の支払額	△302	△355
法人税等の支払額	△6,421	△4,908
営業活動によるキャッシュ・フロー	36,621	29,636
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	△95	△79
有形固定資産の取得による支出	△46,691	△26,435
有形固定資産の売却による収入	1,392	1,970
無形固定資産の取得による支出	△727	△478
投資有価証券の取得による支出	△21	△22
投資有価証券の売却による収入	22	990
貸付けによる支出	△450	△720
貸付金の回収による収入	596	481
その他	166	186
投資活動によるキャッシュ・フロー	△45,809	△24,107
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,317	24,217
短期借入金の返済による支出	△149	△1,595
長期借入れによる収入	18,600	10,000
長期借入金の返済による支出	△16,133	△17,084
コマーシャル・ペーパーの発行による収入	28,000	8,000
コマーシャル・ペーパーの償還による支出	△30,000	△12,000
転換社債型新株予約権付社債の償還による支出	△10,646	—
自己株式の取得による支出	△1,350	△5,427
自己株式の売却による収入	—	0
リース債務の返済による支出	△327	△441
配当金の支払額	△5,690	△2,345
非支配株主への配当金の支払額	△571	△531
財務活動によるキャッシュ・フロー	△16,950	2,792
現金及び現金同等物に係る換算差額	993	△3,649
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△25,145	4,671
現金及び現金同等物の期首残高	98,403	74,314
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	844	—
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	212	—
現金及び現金同等物の期末残高	74,314	78,986

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

1. 連結の範囲

連結子会社の数 39社

2. 持分法の適用

持分法適用の非連結子会社数 4社

持分法適用の関連会社数 5社

なお、上記の事項以外は、最近の有価証券報告書（2020年6月26日提出）における記載から変更がないため開示を省略します。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社生産本部を基礎とした製品別セグメントから構成されており、「懸架ばね」、「シート」、「精密部品」及び「産業機器ほか」の4つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントに属する主要な製品は次のとおりであります。

報告セグメント	主要製品
懸架ばね	コイルばね、板ばね、スタビライザ、アキュムレータ、トーションバー、スタビライザリンク、スタビリンカーほか
シート	自動車用シート、シート用機構部品、内装品ほか
精密部品	HDD用サスペンション、HDD用機構部品、線ばね、薄板ばね、モーターコア、液晶・半導体検査用プローブユニット、ファスナー（ねじ）、精密加工品ほか
産業機器ほか	半導体プロセス部品、セラミック製品、ばね機構品、配管支持装置、ポリウレタン製品、金属基板、駐車装置、セキュリティ製品、照明器具、ゴルフシャフトほか

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

I 前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	合計
	懸架ばね	シート	精密部品	産業機器 ほか	計		
売上高							
外部顧客への売上高	126,332	302,573	142,982	92,611	664,499	—	664,499
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,668	355	1,814	10,128	13,966	△13,966	—
計	128,001	302,928	144,796	102,739	678,466	△13,966	664,499
セグメント利益(営業利益)	2,708	6,960	6,243	4,802	20,715	—	20,715
セグメント資産	98,976	109,669	119,408	82,943	410,997	121,617	532,615
その他の項目							
減価償却費	6,214	5,402	9,897	3,122	24,636	1,771	26,408
持分法適用会社への投資額	1,978	2,677	1,580	1,109	7,345	—	7,345
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	15,156	5,570	14,462	2,952	38,142	1,708	39,850

(注) 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント資産の調整額121,617百万円には、各報告セグメントに配分していない全社資産が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金等であります。
- (2) 減価償却費は本社建物等の償却額であります。
- (3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額1,708百万円は、報告セグメントに帰属しない全社資産の増加額であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

懸架ばね事業の資産について減損損失3,734百万円を計上しております。

シート事業の資産について減損損失931百万円を計上しております。

産業機器ほか事業の資産について減損損失20百万円を計上しております。

II 当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額	合計
	懸架ばね	シート	精密部品	産業機器 ほか	計		
売上高							
外部顧客への売上高	102,071	242,514	138,529	89,523	572,639	—	572,639
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,424	64	1,538	9,422	12,449	△12,449	—
計	103,496	242,579	140,067	98,945	585,088	△12,449	572,639
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は損失(△))	△4,687	1,972	6,833	6,344	10,463	—	10,463
セグメント資産	119,741	121,747	131,830	85,038	458,358	102,411	560,769
その他の項目							
減価償却費	5,949	5,133	10,970	3,755	25,809	1,688	27,498
持分法適用会社への投資額	2,037	3,086	1,779	1,160	8,064	—	8,064
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	4,958	6,270	10,510	2,470	24,210	770	24,981

(注) 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント資産の調整額102,411百万円には、各報告セグメントに配分していない全社資産が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金等であります。
- (2) 減価償却費は本社建物等の償却額であります。
- (3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額770百万円は、報告セグメントに帰属しない全社資産の増加額であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

シート事業の資産について減損損失149百万円を計上しております。

精密部品事業の資産について減損損失284百万円を計上しております。

(参考情報)

所在地別セグメント情報

前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	日本	アジア	米欧ほか	計	消去又は 全社	連結
売上高						
外部顧客に対する売上高	391,390	163,951	109,158	664,499	—	664,499
セグメント間の内部売上高 又は振替高	28,398	2,760	707	31,866	△31,866	—
計	419,789	166,711	109,865	696,366	△31,866	664,499
営業利益又は営業損失(△)	15,816	9,048	△4,148	20,715	—	20,715
資産	403,350	142,558	67,986	613,895	△81,279	532,615

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
 2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域
 (1) アジア・・・タイ・マレーシア・中国・インド
 (2) 米欧ほか・・・アメリカ・メキシコ・オランダ・ハンガリー

当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	日本	アジア	米欧ほか	計	消去又は 全社	連結
売上高						
外部顧客に対する売上高	343,115	148,956	80,567	572,639	—	572,639
セグメント間の内部売上高 又は振替高	27,965	2,593	581	31,140	△31,140	—
計	371,081	151,550	81,148	603,779	△31,140	572,639
営業利益又は営業損失(△)	10,021	6,421	△5,979	10,463	—	10,463
資産	432,220	144,593	66,606	643,420	△82,650	560,769

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
 2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域
 (1) アジア・・・タイ・マレーシア・中国・インド
 (2) 米欧ほか・・・アメリカ・メキシコ・オランダ・ハンガリー

（1株当たり情報）

1株当たり純資産額及び算定上の基礎並びに1株当たり当期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
(1) 1株当たり純資産額	1,151.04円	1,245.48円
(算定上の基礎)		
純資産の部の合計額（百万円）	286,553	299,975
純資産の部の合計額から控除する金額 （百万円） （うち非支配株主持分）	15,565 (15,565)	15,982 (15,982)
普通株式に係る期末の純資産額 （百万円）	270,988	283,993
普通株式の発行済株式数（千株）	244,066	244,066
普通株式の自己株式数（千株）	8,637	16,047
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数（千株）	235,428	228,019

項目	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
(2) 1株当たり当期純利益	19.46円	40.45円
(算定上の基礎)		
連結損益計算書上の親会社株主に帰属する 当期純利益（百万円）	4,612	9,396
普通株主に帰属しない金額（百万円）	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当 期純利益（百万円）	4,612	9,396
普通株式の期中平均株式数（千株）	236,957	232,307
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整 後1株当たり当期純利益の算定に含めな かった潜在株式で、前連結会計年度末から重 要な変動があったものの概要	—	—

（注）前連結会計年度及び当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。